



一人一人が素晴らしい能力をもっています。

紅葉祭が終了しました。文化の部（9月17日）では、学年制作によるモザイクアート、各教科授業での制作物や研究作品、特別支援学級生の作品、美術部員の作品、人権研究会による人権ポスターを掲示しました。3蜜を避けるために、学年・学級ごとに見学し、その合間に、昨年度の紅葉祭で太鼓演奏と金賞を受賞したクラス合唱の様子、現吹奏楽部員によるリモート演奏会の様子の映像を視聴しました。

体育の部（10月1日）は、前日に3年生と陸上部員が会場設営とグラウンド整備を心を込めてしてくれ、その夜の雨で、当日はグラウンド状態も適度に湿り、天候にも恵まれ、体育大会には最高に近いコンディションで行うことができました。緊張して唇が乾燥した表情でスタートラインに立つ姿。歯を食いしばって走り抜ける姿。前走者とかなりの差があいた状態でバトンを受けてもゴールまで全力で走りきる姿。力を出し切ってゴール直後に地面に倒れこむ姿。団体種目に気持ちを集中させる姿。仲間にエールを送る姿。魂を込めて三中ソーランを踊る姿……。格好良くて美しすぎて、もう感動の連続でした。私も閉会式の挨拶で「生徒の皆さん、ありがとう。感動しました！」の言葉を送りました。本当に凄い子どもたちです。

生徒の皆さん、他者のために、クラスのためにと力を出そうとすると、もの凄いエネルギーが湧くことを実感したと思います。皆さんには、人と繋がる温かさと強さがあります。それが団結力と連帯感を生みだします。今後、クラスで様々な出来事が起こっても、その団結力と連帯感があれば解決していくことができます。皆さんならきっとできます。期待しています。

紅葉祭を終えて改めて思います。人には、それぞれに違った才能や能力があることを……。

人は、なんらかの挑戦課題を決め、その実現のために必要な能力を自分に与えて生まれてくると言われています。そうだとすれば、自分が将来どのような仕事をやりたいのかを、自分の心の奥から聞こえてくる「内なる声」に問いかけてみてください。

そして、「自分が生まれつき持っている不思議な才能」は何かを自己分析してみてください。誰でも、生まれつき得意としている事や、他人にとっては苦痛なのに自分にとってはむしろ楽しいと感じるような事を、なにか一つは持っているはずです。そのような不思議な個性は、なにか理由があって、今回の人生を生き抜くための道具として、自分自身に自分で与えて生まれてきたものに違いありません。それらの個性を生かす仕事や役割を探し求め、それに近づいていこうとする熱意を持っていれば、挑戦するチャンスは与えられるはずです。人は、一人一人、顔やかたち、声やしゃべり方、雰囲気と、どれ一つとっても同じ人はいません。誰もがこの世に二つと無い個性を持ち合わせています。そして、能力（＝強味）もそれぞれ異なっていることは言うまでもありません。だからこそ、すべての人が、この世に存在する理由があるのです。

一人一人がそれぞれの役割を果たす事で、この社会が成り立っています。皆さんも、その社会を構成する重要な一人なのです。その事を十分に理解し、自分が持つ無限の可能性に気づき、それを引き出して、磨き上げていく努力を惜しまないでください。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者の方の見学をお断りしたことに、ご理解とご協力をいただきましたことに、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

コロナ禍の中で、例年とは違う内容での紅葉祭となりましたが、子どもたちは今できることに精一杯取り組みました。子どもたちは確実に成長しています。ご家庭においても、褒めてあげていただければ幸いです。

最後になりましたが、本行事の運営にあたり、写真撮影等、ご協力、ご支援をいただきましたPTA 役員の皆様に感謝申し上げます。なお、モザイクアートは、既にホームページに掲載しております。また、体育大会の様子については、後日掲載させていただきます。さらに、三中ソーランの映像についてはDVDにして三年生のご家庭のみに配付致します。

